

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス きずな

支援プログラム

作成日

令和6年 12月 5日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の立場に立って「個性」「自由」「希望」すべての行動に愛情を込めて取り組む。 ・一人ひとりの個性を大切に育み、自立に向け次なるステップに発展します。 ・子どもたちの喜びあふれる笑顔を尊重し、思いやりの心を養います。 			
支援方針		子ども同士、あるいは支援者との関りから、他者との協調性や集団への適応の仕方について身につけられるように支援します。具体的には、集団でのプログラムを主とし、ルールを学ぶとともに、他者との交流を促します。子どもの主体性を引き出しながら必要なサポートを行います。			
営業時間		学校登校日 13時 30分から 18時 00分まで 学校休業日 8時 30分から 18時 00分まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし (学校の迎えのみ対応)	
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態の定期的なチェックと子どもの障害の特性や発達の過程・特性を考慮し、小さなサインから心身の異変に気付けるよう細やかな観察を行います。 ・テーブルふき・ごみ捨て・消毒などの「お手伝い」を増やし、社会に出る準備をします。 			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチやラジオ体操、筋力トレーニング、体幹トレーニングなどの軽運動を行います。 ・ダンス・ボール・風船バレー・縄跳び・サーキット運動・だるまさんがころんだ・輪投げ・コロコロドッチボールなど様々な活動を通して、楽しく体を動かす習慣を身につけ、運動やバランス、姿勢保持の能力向上を促進します。(月の活動プログラムを作成し配布しています) 			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の制作・おりがみ・ビーズ・粘土などを通して、楽しみながら、形・色・手触り・重さなどの認知を促進します。さらにはそれらを使って作品を作ることで、世界に一つの表現を作り上げます。作品は展示、あるいは自宅に持ち帰ることで、振り返ったりご家族と楽しんだりしてもらえる機会を作っています。 			
	言語コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上を行い、結果として様々な状況に対応できるようコミュニケーション力を身につけられるよう支援を行う。具体的な支援として他の児童との関わりを持てるように活動は集団で行い、適切な言葉遣いやコミュニケーションを学べるよう、適宜スタッフが言葉かけを行います。			
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びを通じて集団で行動する機会、役割分担をする機会を設けます。 ・ふれあいや遊びの中で順番を守る・お友達をほめる/ほめてもらう・一緒に挑戦して頑張ったね!と認め合うなどの環境を提供し支援します。 ・集団の時間を設けみんなで楽しむ事で、集団への参加意識を高めるとともに集団活動での成功体験を積み「1人よりもみんなのほうが楽しい」という経験を提供します。 			
家族支援		困りごと等が発生した際は、調整をさせていただき相談、及び面談の機会を設けます。	移行支援	学校と連携して、現況や支援内容等の情報交換を行います。学校生活に必要なスキル獲得のための支援を本人の状況を把握しながら行っています。	
地域支援・地域連携		事業所内での過ごした様子や出来事については保護者や各関係機関へも情報共有いたします	職員の質の向上	毎日ミーティングを行い、全職員が利用児童に対し共通の認識をもち支援に当たるよう努めています。	
主な行事等		外出の機会（図書館や児童館などの公共機関での活動、体験学習、買い物学習、消防・避難訓練等） 季節の移り変わりを感じられるように、各季節に沿ったイベントを開催する。例として、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会など行っています。			